

# クラブ変革に関する アンケート結果について

2018年11月

2660地区 クラブ奉仕・拡大増強委員会

# アンケートの目的

---

- 今世紀に入りロータリーを取り巻く環境は大きく変わり、ロータリークラブはより一層「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブ目指して変革していくことが求められている。
- 2016年4月のRI規定審議会では、クラブの柔軟運営を可能とするルールが決定され、クラブの変革にあたり必要に応じてこのルールを採用してゆくことも可能となった。
- この「クラブの柔軟運営ルール」に対する認識も含め、2660地区内での「クラブの変革」に対する各層の意識を調査し、各クラブでの情報の共有と活用を図るとともに今後の地区活動に役立てていく。

# アンケートの概要(計画)

- 対象クラブ:2660地区の81クラブ
- 回答者

クラブ規模、会員歴について、それぞれ3区分して回答者数を指定。回答者はクラブ内で無作為に選定。

(設定回答者数:原則)

合計480人 ()内は各セクションの合計

会員歴 \ クラブ規模	30人未満 (29クラブ)	30~40人 (25クラブ)	40人以上 (27クラブ)
10年未満	1人(29人)	2人(50人)	3人(81人)
10~20年	1人(29人)	2人(50人)	3人(81人)
20年以上	1人(29人)	2人(50人)	3人(81人)

- アンケート設問

・クラブの現況・クラブに対する満足度・クラブの変革に対する認識・クラブ運営の柔軟ルール・衛星クラブ・RIの取り組みに対する認識・クラブビジョン など

- 実施時期:2018/9

# アンケートの回答状況

- 回答クラブ : 74クラブ
- 回答者数 : 418名

合計418人 ()内は設計数

クラブ規模 会員歴	30人未満 (29クラブ)	30~40人 (25クラブ)	40人以上 (27クラブ)	(合計)
10年未満	24人(/29人)	54人(/50人)	74人(/81人)	152人
10~20年	20人(/29人)	49人(/50人)	68人(/81人)	137人
20年以上	14人(/29人)	46人(/50人)	69人(/81人)	129人
(合計)	58人	109人	211人	418人

# アンケートの設問 1

---

1、所属クラブ、年齢、会員歴などについて

(1)所属クラブ

(2)年齢(10才刻みの選択)

(3)会員歴

(4)クラブでの役職歴(複数選択あり)

- ・会長 ・副会長 ・理事 ・幹事 ・SAA ・会計
- ・委員長

# 1-(2)回答者の年齢(10才刻み)

- 30才台から80歳以上と幅広いが、中心は40～70才台
- 会員歴10年未満は、40～60才台、10～20年では50～70才台、20年以上では60～80才以上が中心

	在籍年数			
	全体	10年以下	10～20年	20年以上
30代以下	7人( 2%)	7人( 5%)	0人( 0%)	0人( 0%)
40代	53人(13%)	44人(29%)	9人( 7%)	0人( 0%)
50代	111人(27%)	63人(41%)	44人(33%)	4人( 3%)
60代	137人(33%)	29人(19%)	54人(40%)	54人(43%)
70代	88人(21%)	9人( 6%)	25人(19%)	54人(43%)
80代以上	18人( 4%)	0人( 0%)	3人( 2%)	15人(12%)

# 1-(4) クラブでの役職歴

- 回答者のクラブでの役職歴は、全体では会長経験者が45%、副会長が40%、理事が70%、幹事65%、委員長83%となっている。
- クラブの会員が少ないほどこの比率は高く、反対に多いほど比率は低くなっている。  
(30人未満のクラブで会長経験者は60%、40人以上のクラブでは36%となっている)
- また、在籍年数が短いほどこの比率は低く、反対に長いほどこの比率は高くなり、在籍20年以上では会長経験者は85%となっている。

	全体	クラブ規模			在籍年		
		30人未満	30～40人	40人以上	10年未満	10～20年	20年以上
会長	190人(45%)	35人(60%)	78人(52%)	77人(36%)	10人(7%)	70人(51%)	110人(85%)
副会長	168人(40%)	28人(48%)	62人(42%)	78人(37%)	12人(8%)	67人(49%)	89人(69%)
理事	293人(70%)	43人(74%)	109人(73%)	141人(67%)	62人(41%)	114人(83%)	117人(91%)
幹事	272人(65%)	43人(74%)	98人(66%)	131人(62%)	67人(44%)	102人(74%)	103人(80%)
委員長	348人(83%)	51人(88%)	126人(85%)	171人(81%)	104人(68%)	125人(91%)	119人(92%)

# アンケートの設問 2

---

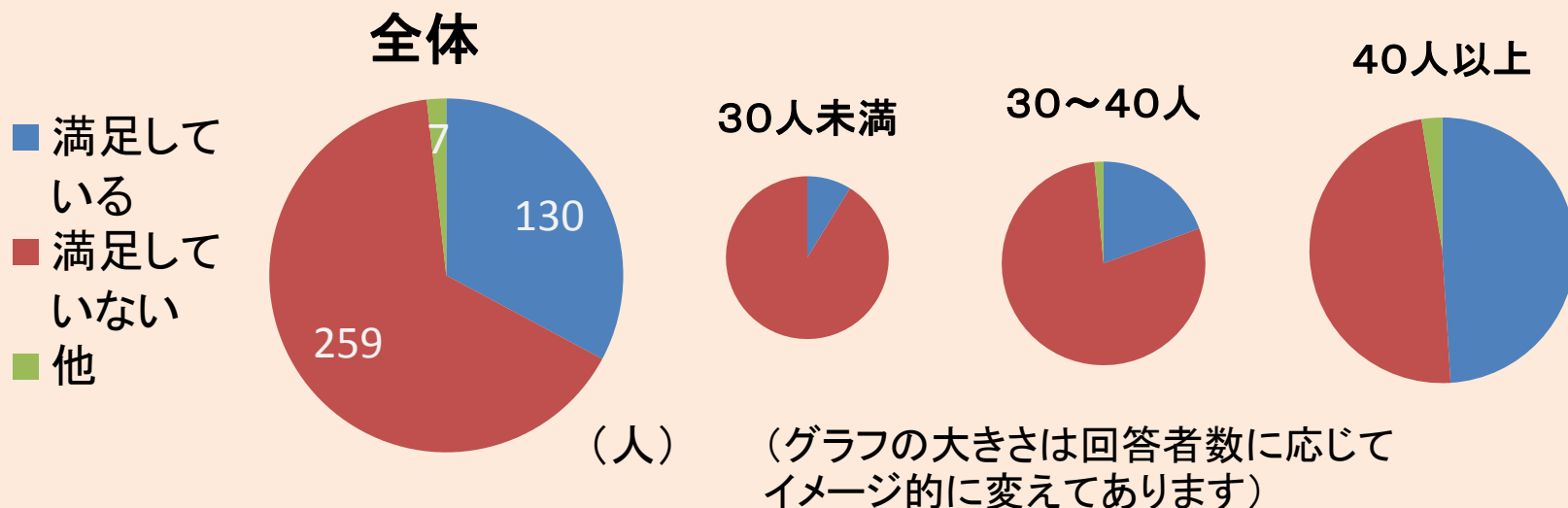
## 2、クラブ規模（現状）について

- (1) 現在のクラブ会員数は
- (2) 活動面、財政面から考えて現在の会員数に満足してるか
- (3) 何人ぐらいの会員が理想と考えるか



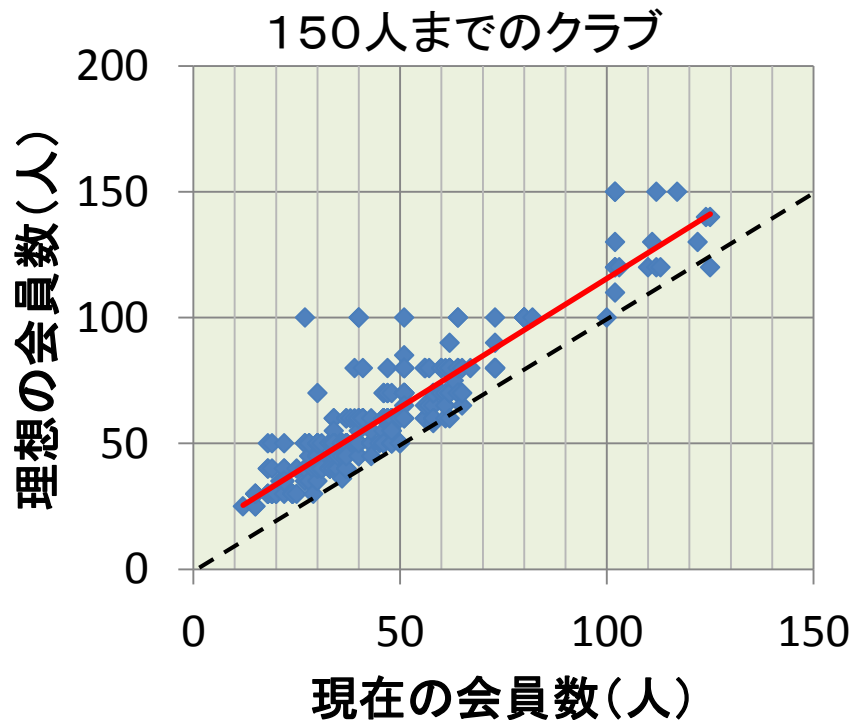
## 2-(2) クラブの規模(現状)に対する満足感

- ・クラブの現状規模については全体としては、1/3が満足しているが、2/3は満足していない。
- ・会員数が30人未満のクラブでは9割以上が満足していないが、40人以上のクラブでは約5割が満足している。

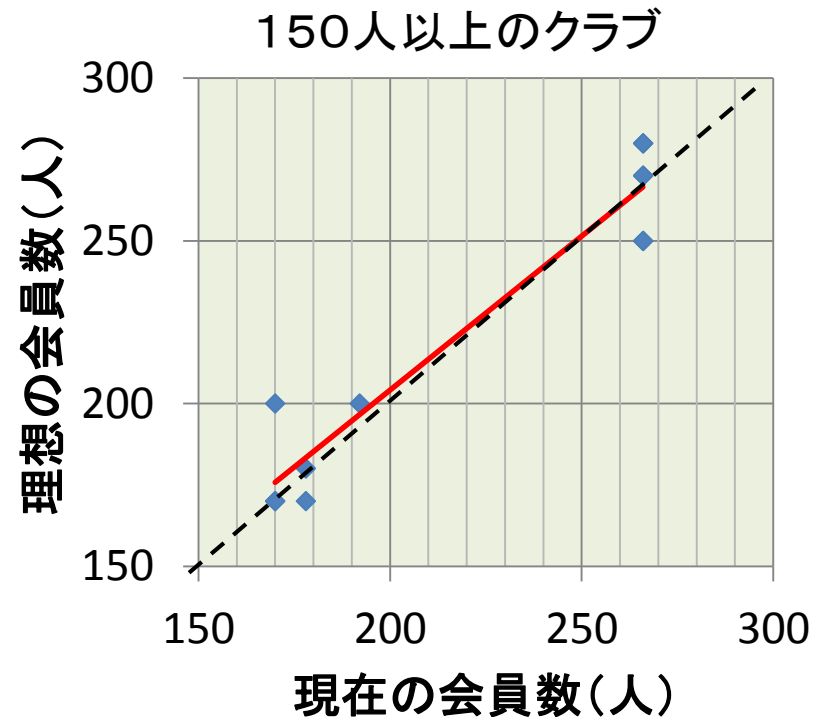


## 2-(3) 理想と考える会員数

- ・理想と考える会員数は、150人までのクラブでは現在より多い人数を答えており、100人までのクラブでは最大で100人、100～150人のクラブでは最大で150人と答えている。いずれも平均的には20人程度増の会員数となっている。
- ・150人以上のクラブでは、多少のばらつきはあるものの平均的にはほぼ現状程度となっている。



— 近似線



----- 1:1 線

# アンケートの設問 3

---

## 3、会員増強について

### (1) 過去5年を比較して

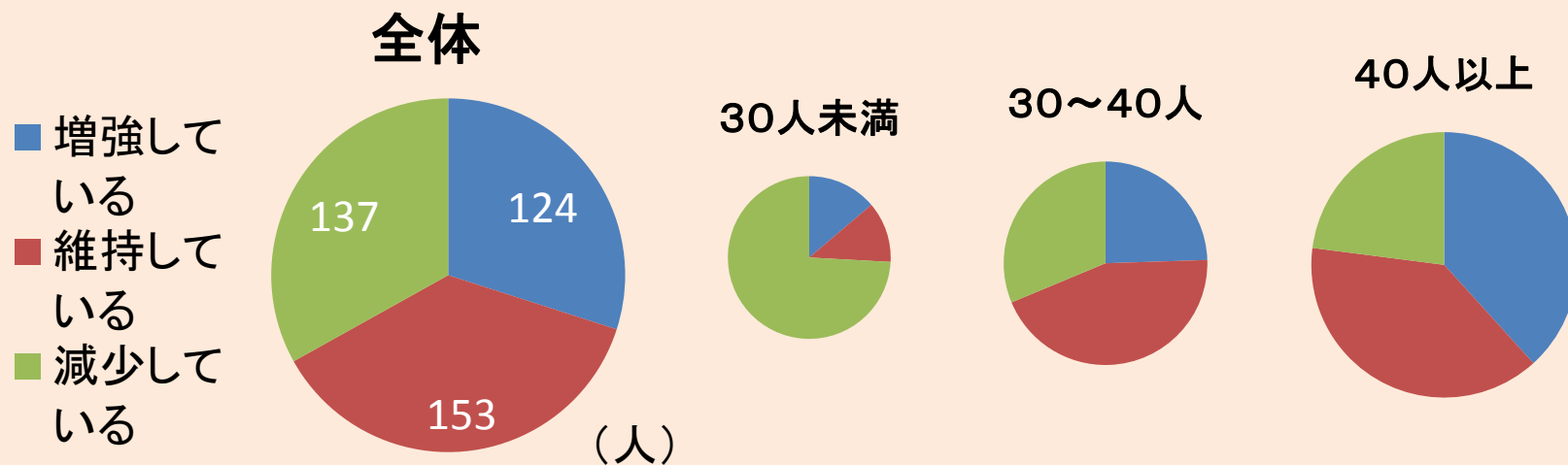
- ・増強できている
- ・会員数を維持している
- ・減少している

### (2) 会員数について

- ・会員数に満足している
- ・充分とは言えないがあきらめている
- ・危機感をもっている

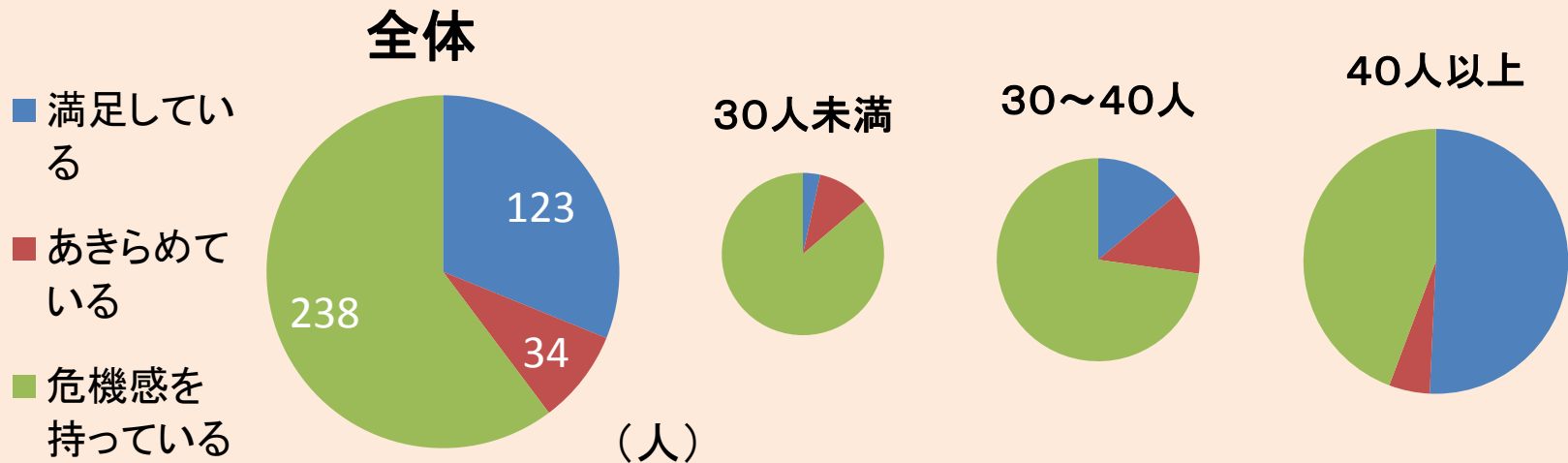
## 3-(1) 会員増強(過去5年を比較して)

- ・全体としては、約4割が会員を維持し、3割が増やしている、3割が減らしている、となっている。
- ・会員数が30人未満のクラブでは74%が減らしており、40人以上のクラブでは約4割が増強している、および維持しているとなっており、約2割が減らしている。



## 3-(2) 現状会員数についての意見

- ・現状の会員数について、全体として3割が満足しており、約6割が危機感を持っているが、1割があきらめている。
- ・会員数が30人未満のクラブでは86%が危機感を持っている。40人以上のクラブでは51%が満足しており、44%が危機感を持っている。



# アンケートの設問 4

## 4、クラブに対する満足度などについて

(1)例会について (選択:満足～不満足)

(2)親睦活動について (選択:満足～不満足)

(3)奉仕活動について (選択:満足～不満足)

(4)会費について (見合う価値あり～価値を提供していない)

(5)コミュニケーションについて(選択:満足～不満足)

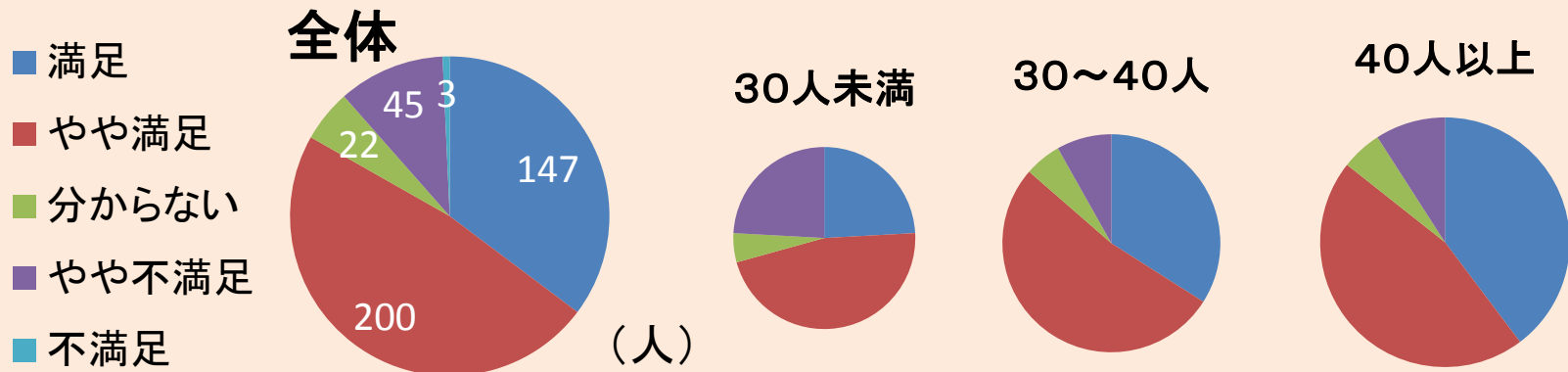
(6)クラブの魅力(複数選択可)

- ・例会 ・親睦活動 ・奉仕活動 ・人間関係 ・同好会
- ・ロータリー理念の実践
- ・特に魅力となるところは感じない

(7)会員であることについての満足(選択:満足～不満足)

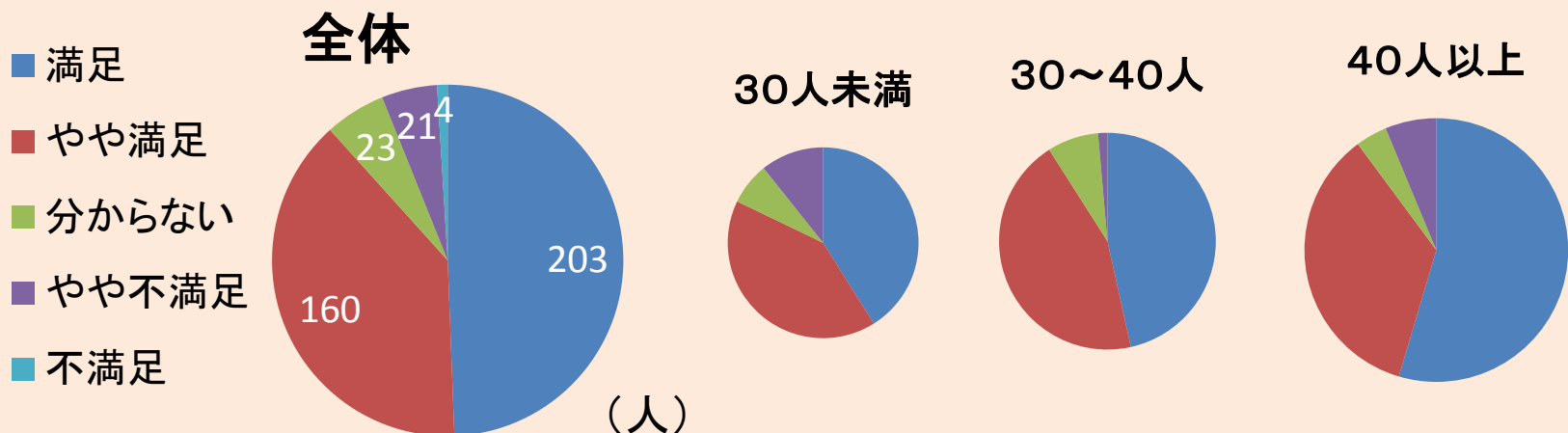
# 4-(1) 例会の満足感

- 全体で8割以上が、「満足」、「どちらかと言えば満足」と答えており、例会の満足感が高い。
  - 一方、1割強が「どちらかと言えば不満足」と答えており、1%と少ないが不満足もある。
  - 30人未満のクラブでは2割強が「やや不満足」と答えている。
- 満足と答えた理由は多岐に亘るが、例会の雰囲気、プログラム・卓話が充実、運営、コミュニケーション・情報交換など。ただ出席率が低いといった意見も多い。
- 不満足と答えた理由は、例会が形式化・マンネリ、欠席が多い、卓話が面白くない、交流がない、古いメンバーの言いなり、など。



## 4-(2) 親睦活動の満足感

- 全体で9割近くが、「満足」、「どちらかと言えば満足」と答えており、親睦活動の満足感は非常に高い。  
一方、5%が「わからない」と答えており、5%が「どちらかと言えば不満足」「不満足」と答えている。  
30人未満のクラブでは1割が「やや不満足」「不満足」と答えている。
- 満足と答えた理由は、多様な親睦活動、同好会、懇親会などで親睦・情報交換が図られている、といった意見が多い。
- 不満足と答えた理由は、プログラムが少ない、固定しているなどで面白くない。欠席が多い、グループ化されつながりが感じられない、など。





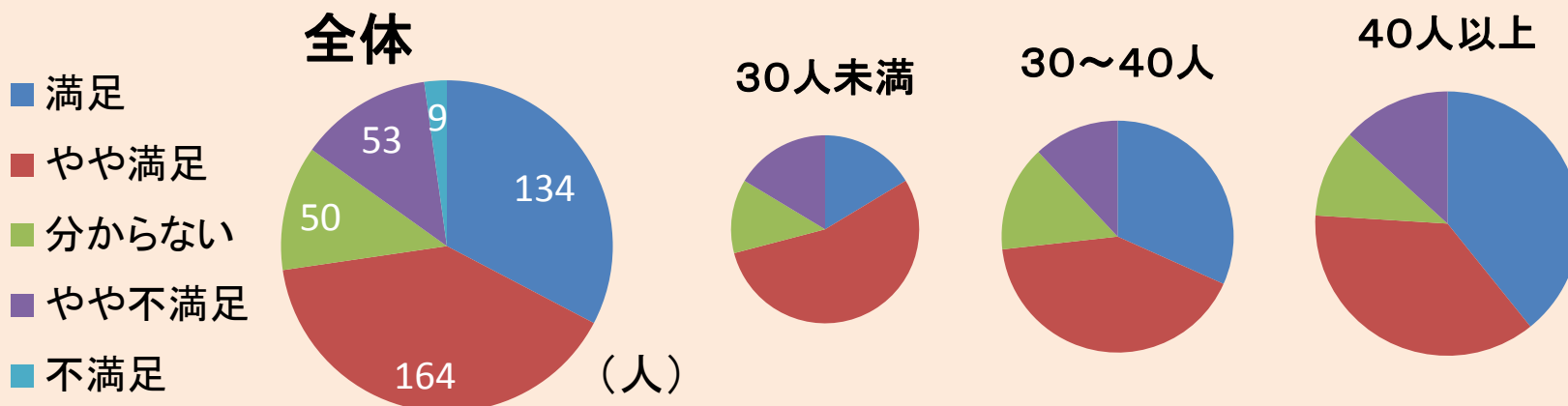
## 4-(3) 奉仕活動の満足感

- 全体で7割以上が、「満足」、「どちらかと言えば満足」と答えており、親睦活動の満足感が高い。

一方、1割強が「わからない」と答えており、15%が「どちらかと言えば不満足」「不満足」と答えている。

30人未満のクラブでは2割が「やや不満足」「不満足」と答えている。

- 満足と答えた理由は、継続的な、あるいは地元に着した、あるいは国際的な奉仕活動など多様な親睦活動で満足感が高いといった意見が多い。
- 不満足と答えた理由は、活動の内容が少ない、偏っている、固定している、マンネリ化している、参加者が固定化されている、参加を強制される、など。



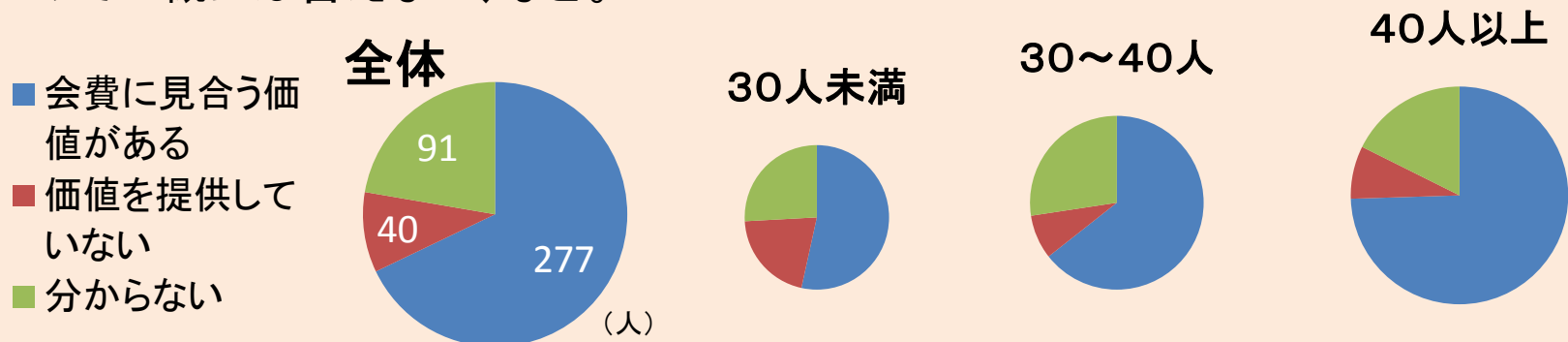
## 4-(4)会費の納得感

- 全体で7割近くが、「クラブは会費に見合う価値がある」と答えており、会費の納得感が高い。

一方、1割が「クラブは会費に見合う価値を提供していない」と答えており、2割が「わからない」と答えている。

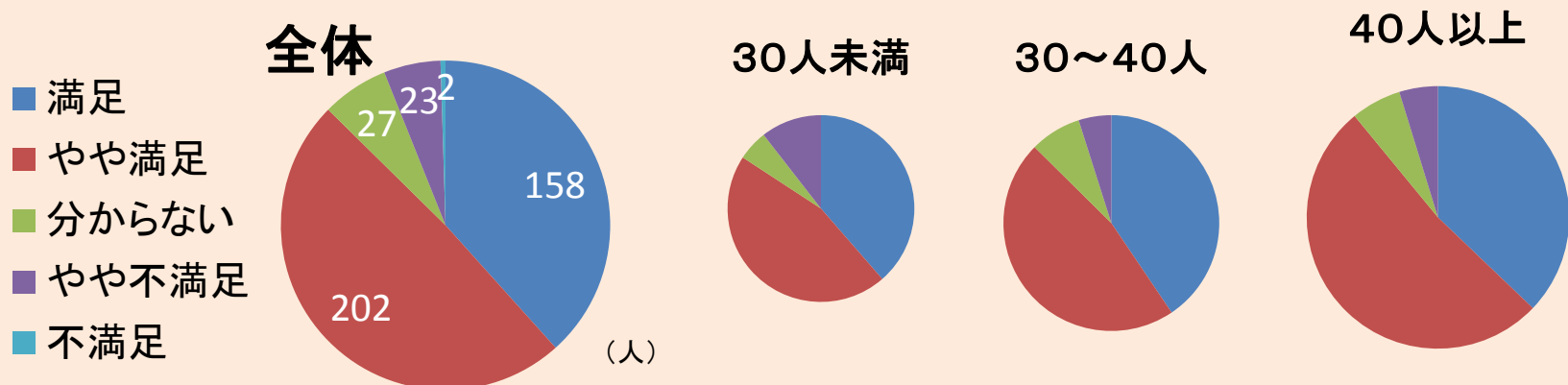
30人未満のクラブでは「クラブは会費に見合う価値がある」は約5割と低くなっており、2割が「クラブは会費に見合う価値を提供していない」と答えており、3割が「わからない」と答えている。

- 価値があると答えた理由は、活動内容、例会場所・食事の内容、得られるものが多いなどで納得できるといった意見が多い。
- 価値を提供していないと答えた理由は、運営費以外に回っていない、新会員が入らない、下げる努力をしていない、上納金が慣例化しているなど。
- わからないと答えた理由は、会費は高いが会員数、例会会場、食事などで変わるので一概には言えない、など。



## 4-(5) クラブ内のコミュニケーション

- 全体で9割近くが、「満足」、「どちらかと言えば満足」と答えており、コミュニケーションの満足感是非常に高い。
  - 一方、7%が「わからない」と答えており、6%が「どちらかと言えば不満足」「不満足」と答えている。
  - 30人未満のクラブでは1割が「やや不満足」と答えている。
- 満足と答えた理由は、いろいろな機会に親睦が図られている、クラブ内の風通しが良い、話しやすい雰囲気、派閥的なものがない、といった意見が多い。
- 不満足と答えた理由は、高齢者もあり世代間のギャップを感じる、派閥、グループ別れがある、コミュニケーションを深める場がない、受注目的の会員がいる、など



## 4-(6)クラブの魅力(複数選択)

- 全体で、人間関係が74%と最も高く、以下親睦活動(61%)、例会(55%)、奉仕活動(49%)、同好会(24%)、理念の実践(10%)となっており、魅力無しと答えたのは3%と少ない。

30人未満のクラブではこれらの比率が相対的に小さく、規模が大きいクラブほど比率が高くなる傾向がある。

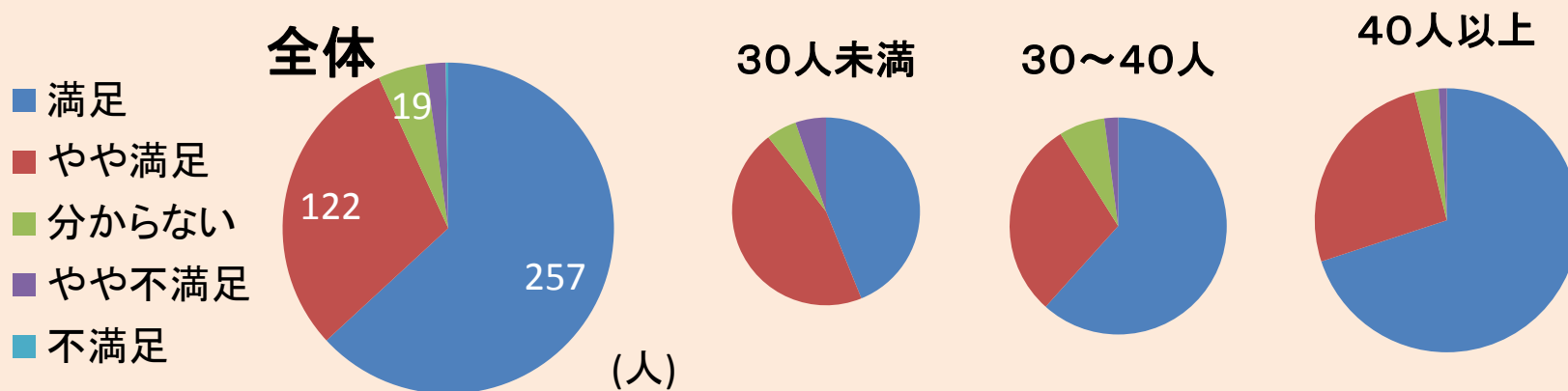
- 人間関係、親睦関係については、良い会員ばかりで雰囲気が良い、出会い・会員の考え方で良い影響を受けている、多業種の人と知り合える、派閥がない、アットホームな雰囲気である、若い会員・女性会員を先輩が良い指導をしている、などといった意見など多岐に亘る。
- 魅力無し理由は、会社経営者として発言する人が多い、マンネリ化、奉仕活動が金だけ、クラブの求心力に欠ける、など。

	クラブ規模			
	全体	30人未満	30~40人	40人以上
例会	55	41	53	61
親睦活動	61	50	60	64
奉仕活動	49	50	50	48
人間関係	74	69	70	79
同好会	24	3	12	39
理念の実践	10	9	11	9
魅力なし	3	3	1	3

(単位:%)

## 4-(7)ホームクラブ会員であることの満足感

- ・ 全体で9割近くが、「満足」、「どちらかと言えば満足」と答えており、ホームクラブ会員であることの満足感是非常に高い。  
一方、5%が「わからない」と答えており、「どちらかと言えば不満足」「不満足」は2%と少ない。
- ・ 「満足」の割合はクラブ規模が大きくなるほど増えているが、その分「どちらかと言えば満足」が減っている。  
「満足」「どちらかと言えば満足」の合計では、全体としてクラブ規模による大きな差は見られない。



# アンケートの設問 5

## 5、クラブの変革について

今世紀に入り日本では会員数を大きく減らしていますが、その背景として経済状況、労働人口の減少、価値観の多様化などのいろいろな外部変化があり、一方多くのロータリークラブはこれらの環境変化に適切に対応できず、その結果従前に比べて魅力が相対的に低下したとも考えられます。これらを踏まえ、これからはそれぞれのクラブが時代にマッチした「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブを目指して変革してゆくよう呼びかけられています。これについてあなたの考えをお聞かせください。

### (1)このような考え方について

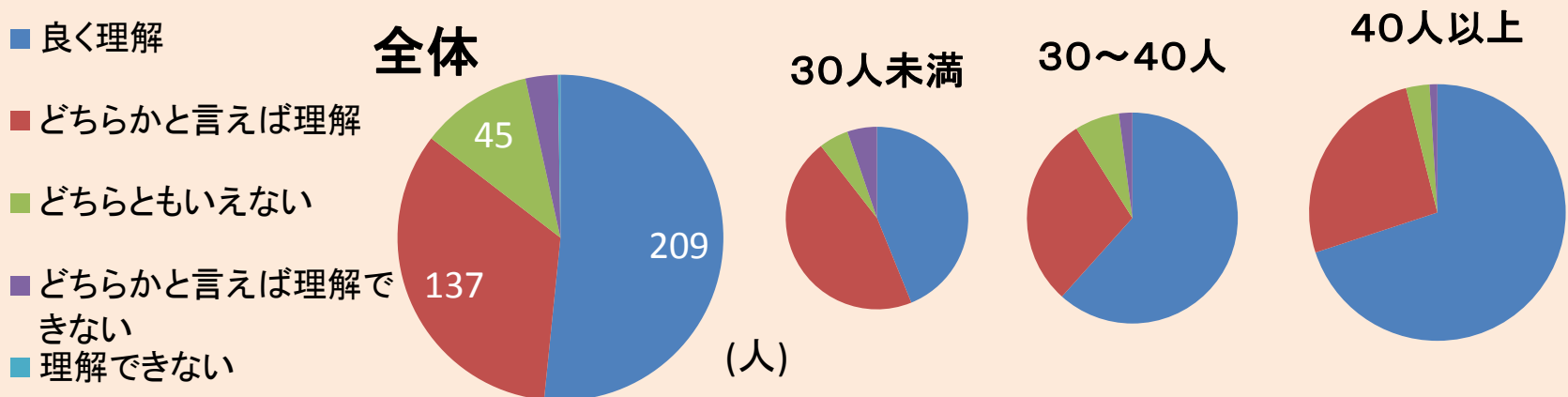
(選択:よく理解できる～全く理解できない)

### (2)あなたのクラブで変革する必要があると感じられている活動、内容はどれでしょうか。(複数選択可)

- ・例会
- ・親睦活動
- ・奉仕活動
- ・人間関係
- ・同好会
- ・ロータリー理念の実践
- ・会費
- ・その他( )
- ・特に変革する必要は感じない

# 5-(1) クラブの変革に対する背景について

- 全体で9割近くが、「良く理解できる」、「どちらかと言えば理解できる」と答えており、クラブの変革に対する背景、考えについての認識、理解は非常に高い。この傾向はクラブ規模による大きな差は見られない。
- 「良く理解できる」、「どちらかと言えば理解できる」と答えた人の意見として、時代に合った方向に作り替えなければ衰退する、社会の変化に対応してゆくことは理解できるがクラブ内をまとめるのは大変である、従来の会員増強は限界(改革が必要)、理念の追求がおろそかになっている、理解はするが一定の価値観を持ち続けるべきである、外部への情報発信(広報)は大切である、など多岐に亘っている。
- 否定的な意見としては、時代に合わせることなくロータリーらしい特徴を出していくべきである、たとえ会員が減少しても素晴らしいロータリーの心があればよい、外部のせいにするのではなく減少の原因を追究し努力すべきである、ロータリーを変えようという認識はない、など。



## 5-(2) 変革する必要があると感じている活動、内容

- ・全体では、奉仕活動が4割近く、例会(22%)、理念の実践(20%)、会費(14%)となっているが、一方改革の必要がないは21%となっている。このうち、会費、理念の実践、必要がない、はクラブ規模により大きく異なっている。
- ・「奉仕活動」についての意見は、活動が固定化・硬直化しており見直しが必要、活動が少ない、地域に密着した活動、全員参加、奉仕活動が多すぎる、寄付だけでなく体を動かす活動、など
- ・「例会」についての意見は、慣例化しているプログラムを見直し魅力あるものにする、出席率の向上を図る、多様な例会を導入する、例会頻度を減らす(多忙なビジネスマンは出席困難)、など
- ・「改変する必要を感じない」についての意見は、現在のクラブに満足している、伝統を守るべき、将来のロータリアンより現在のロータリアンを重視し退会防止、など

	クラブ規模			
	全体	30人未満	30~40人	40人以上
例会	22	22	23	21
親睦活動	13	10	13	14
奉仕活動	37	43	34	37
人間関係	10	9	9	11
同好会	5	3	5	4
理念の実践	20	19	17	23
会費	14	24	18	9
その他	6	12	6	5
必要なし	21	9	20	24

(%)



# アンケートの設問 6

## 6、クラブ運営の柔軟性ルールについて

(1) 2016規定審議会でクラブ運営に大幅な柔軟性を認める決定をしたが、これの内をどの程度知っているか

(選択:よく知っている～全く知らない)

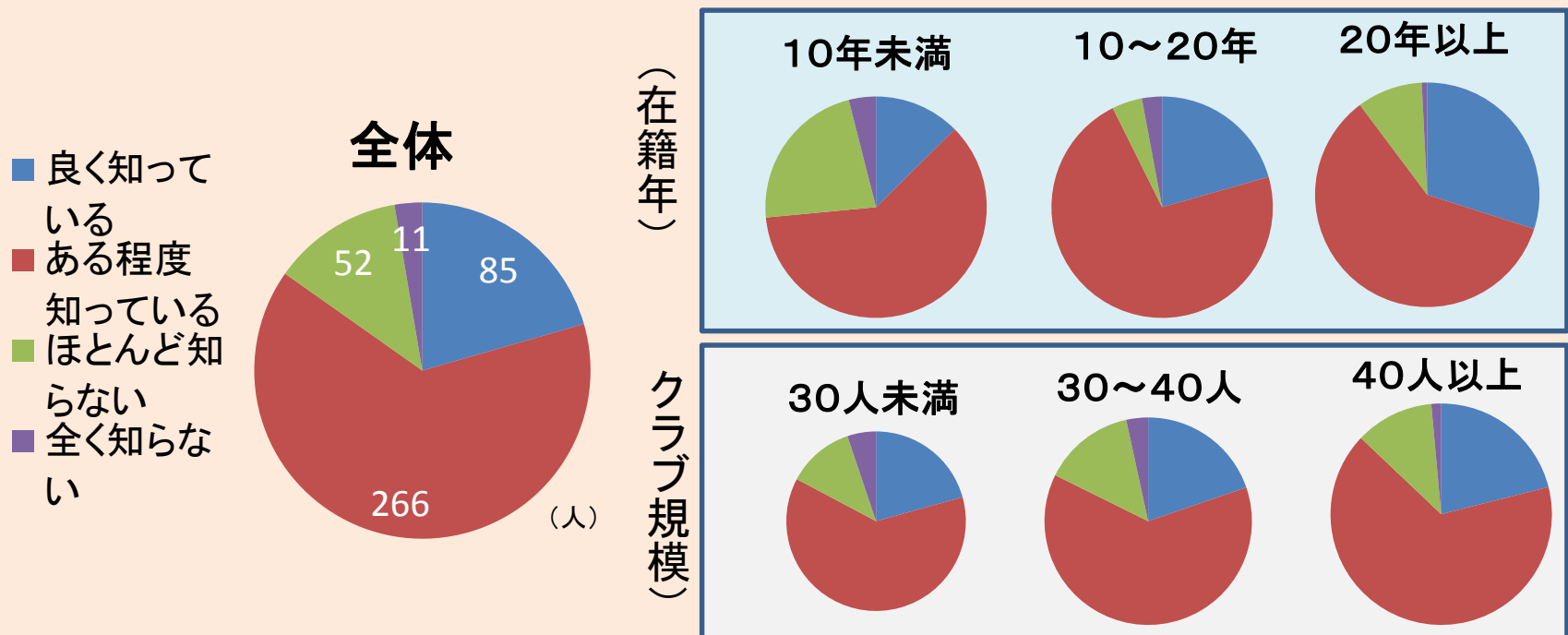
(2)この柔軟ルールを活用してクラブの運営を変えることについて

(選択:・今のままでよい ・検討すべきだ ・良くわからない)

- ①例会の回数を変える(減らす、または増やす)ことについて
- ②奉仕プロジェクトまたは社交行事を「例会」とみなすことについて
- ③直接顔を合わせる例会、オンラインでの例会、それらを組み合わせた例会等について
- ④出席要件を満たさなかった会員の終結に関するルールの見直しについて
- ⑤会員種類に関する柔軟性について
- ⑥その他意見

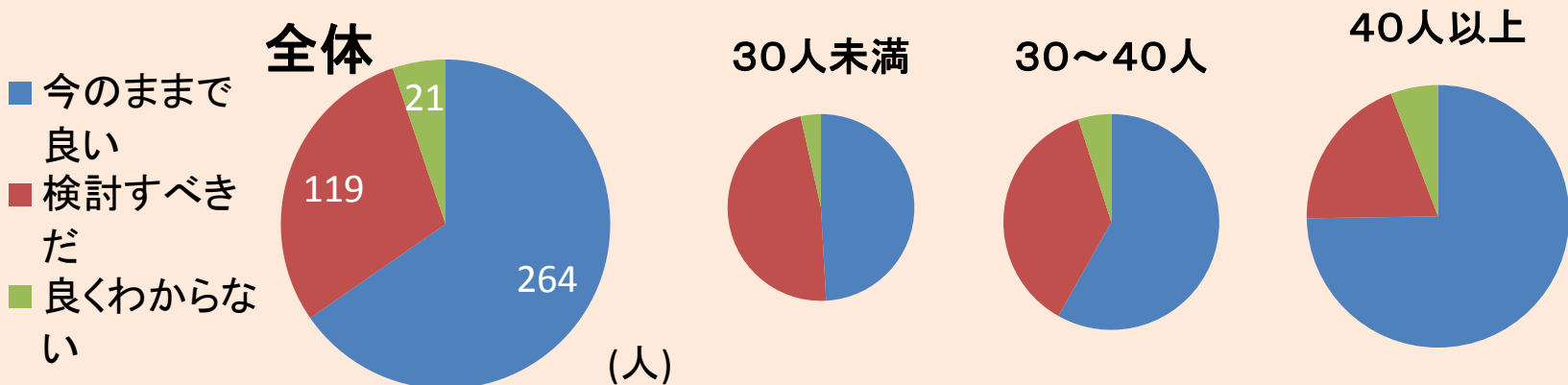
## 6-(1)クラブ運営の柔軟性ルール認知度について

- 全体としては、「良く知っている」「ある程度知っている」が85%となっており、「ほとんど知らない」(全く知らない)は15%となっている。
- 在籍年数が少ないほど認知度は低く、長いほど多くなっている。クラブ規模による差はあまり見られない。



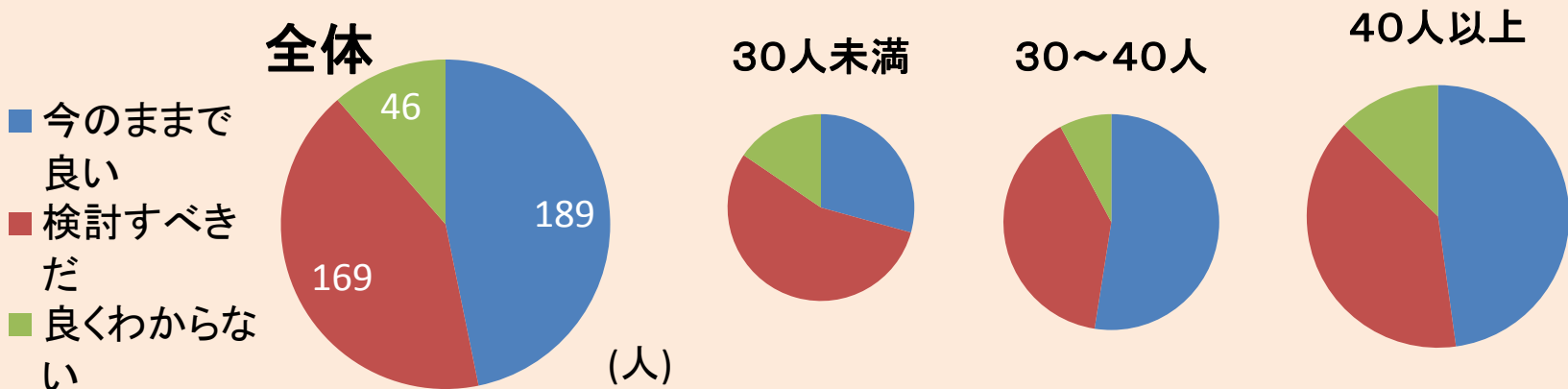
## 6-(2)① 例会の回数を変えることについて

- 全体としては、65%が「今のままで良い」となっており、29%が「検討すべきだ」となっている。
- 30人未満のクラブでは、「今のままで良い」と「検討すべきだ」がほぼ同じ(約5割)となっているが、クラブ規模が大きくなると「今のままで良い」が大きくなり、40人以上のクラブでは「今のままで良い」が75%となっている
- 「今のままで良い」という意見は、例会は根幹をなす活動である、変えて良いことと変えてはいけないことがある、減らすメリットが会計以外ない、減らす目的が分からない、良い人間関係は合う回数に比例する、すでに変更済みである、など
- 「検討すべきだ」という意見は、現役世代・若い世代にとって毎週の出席はつらい、例会が充実していれば毎週にこだわる必要はない、例会回数を減らし例会時間を長くするなどの工夫をすればいい、など



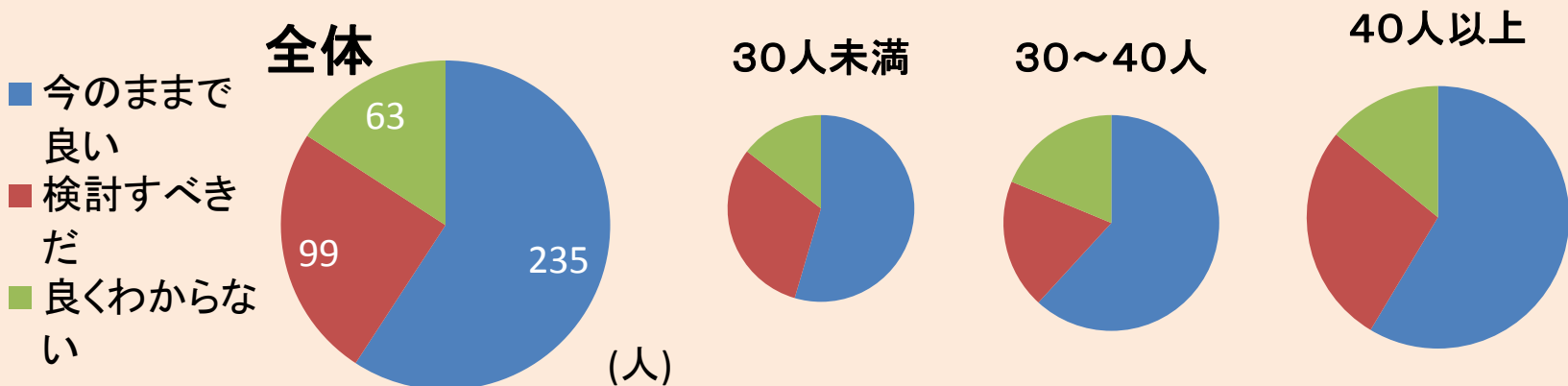
## 6-(2)② 奉仕プロジェクトなどを「例会」とみなすことについて

- 全体としては、47%が「今のままで良い」となっており、42%が「検討すべきだ」となっている。
- 30人未満のクラブでは、「今のままで良い」は29%で、「検討すべきだ」の55%より大幅に少なくなっている。クラブ規模が大きくなると「今のままで良いが」大きくなっており、「検討すべきだ」は減っている。
- 「今のままで良い」という意見は、本来の例会の持つ意味がなくなる、例会と奉仕活動は別物である(例会はコミュニケーションの場であり奉仕は社会貢献の場)、何のためにこのようにするのか意味が分からない、など
- 「検討すべきだ」という意見は、出席率の向上につながる、現役世代・若い世代を取り込むために必要、奉仕活動や社交行事の活性化につながる、例会だけがロータリーと思わない、など



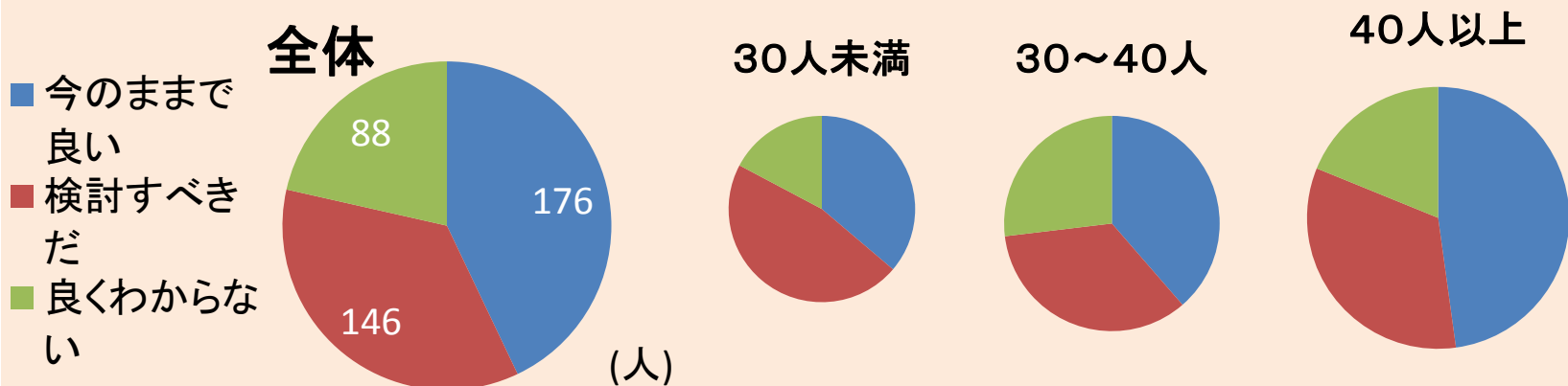
## 6-(2)③オンラインによる例会の活用について

- 全体としては、59%が「今のままで良い」となっており、25%が「検討すべきだ」となっている。
- 多少のばらつきはあるがクラブの規模により、大きな差は見られない。
- 「今のままで良い」という意見は、直接顔を合わせてこそ真の友情、信頼関係が育まれる、オンラインでは人物の本質が見えない、OAが苦手な会員も多い、何のためにオンラインで例会するのか意味が分からない、など
- 「検討すべきだ」という意見は、今のITの時代では当たり前である、今までの例会の一部をオンラインにして情報交換が深まるのであれば検討しても良い、交通事情などでやむを得ない場合の補完として活用すれば出席率の向上につながる、現役世代・若い世代を取り込むために必要、など



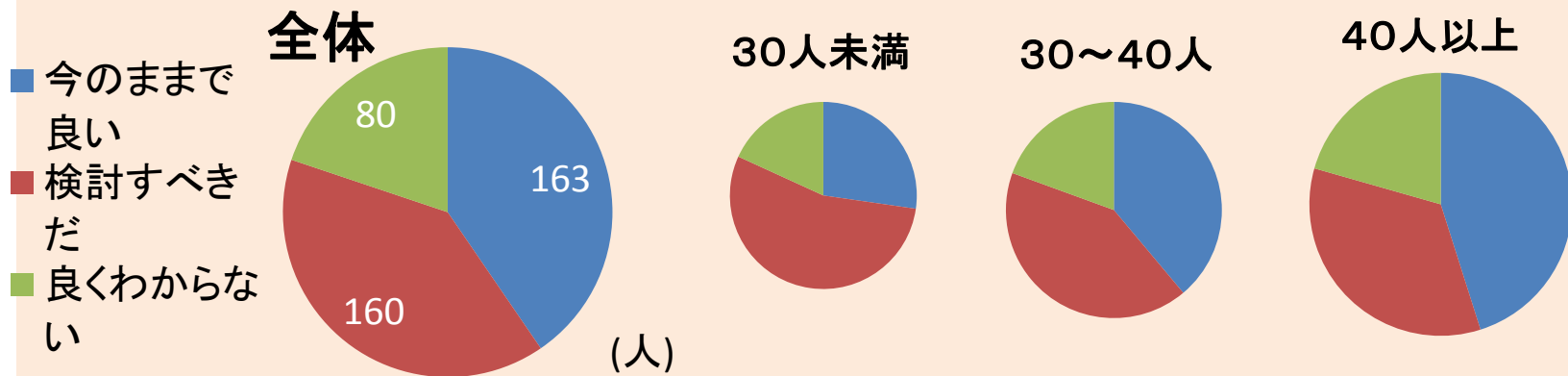
## 6-(2)④会員の終結ルールの見直しについて

- 全体としては、43%が「今のままで良い」となっており、36%が「検討すべきだ」となっている。
- 30人未満のクラブでは、「今のままで良い」は36%で、「検討すべきだ」の55%より大幅に少なくなっている。クラブ規模が大きくなると「今のままで良いが」大きくなっており、「検討すべきだ」は少なくなっている。
- 「今のままで良い」という意見は、例会参加は会員一番の責務である、出席しない会員はロータリアンとは言えない、安定したクラブ運営のためにはある程度厳しいルールが必要、今まで柔軟に対しており特段の問題もない、など
- 「検討すべきだ」という意見は、欠席している会員もおり中途半端は止め現実に合わせる、出席できなくてもロータリアンでいたい人もいる、ルール通り対応し会員をせめて退会させるのがロータリアンなのか、会員増強を考えるうえで時代の変化に合わせる、例会出席は自由で良い、など



## 6-(2)⑤会員種類に関する柔軟性について

- 全体としては、40%が「今のままで良い」となっており、同じく40%が「検討すべきだ」となっている。
- 30人未満のクラブでは、「今のままで良い」は27%で、「検討すべきだ」の55%より少なくなっている。クラブ規模が大きくなると「今のままで良いが」大きくなっており、「検討すべきだ」は減っている。
- 「今のままで良い」という意見は、会が複雑で纏まりがつかなくなる、平等性の感情に変化が出る、そこまでして会員を増やす必要があるのか疑問である、誰でも良いというなら一度ガラガラポンしてロータリーを解体し作り直すべきである、ライオンズのようになりそれがいいのか疑問である、など
- 「検討すべきだ」という意見は、基本を守りながら多様性を検討する時期に来ている、会員の制度を見直すことは会員増強のためには良い、世代交代のためにも家族会員などは良い、これからの時代はシニア会員なども必要、ロータリーのメンバーとしてふさわしい人なら良い、魅力あるクラブづくりのためにも必要、など



## 6-(2)⑥柔軟性についてのその他意見(主なもの)

クラブ規模 30人以下	クラブ規模 30～40人	クラブ規模 40人以上
<ul style="list-style-type: none"><li>・経済的に恵まれた人たちの会としては意味はあるが、金銭感覚についてゆけない</li><li>・急激な変化に会員が戸惑うと思う</li><li>・今回の改正は会員増強を図ることを主眼とした結果、実質的に社会奉仕団体となり、ライオンズと変わらなくなった。(職業奉仕はどこへ行ったのか)</li><li>・クラブ変革は良いように考えるなら「クラブの自主性の尊重』であり、前向きに検討したらよい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・無理な勧誘をしなくても、実のある増強を目指したい</li><li>・今回の変更はRC活動の本質の強化ではなく、組織の在り方だけをいじる小手先の対応と思う</li><li>・例会数を減らした会長から不都合があり元に戻した話を聞いた。現在大きな変革期であるため、成功例失敗例を発信してほしい</li><li>・先輩諸氏から教わってきた古来からのロータリーの良いところを大切にしていたきたい</li><li>・まずは地区の活動から簡素化すべき(委員会など)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・柔軟性は結構だが、例会が月2回だとかそんなクラブにロータリークラブのという名称を与えるべきでない</li><li>・会員を増やすためには誰でも良いというやり方は疑問である</li><li>・大きなクラブはさほど増強努力をしなくても会員が増え、少人数クラブはほとんど会員が減少しているのも現実。クラブを細分化は増やし過ぎたのかも</li><li>・ロータリーの原点(伝統)を守ることが重要。会員を増やすことや世間に知られることが原点より重要とは思わない</li></ul>



# アンケートの設問 7、8、9

---

## 7、衛星クラブについて

○知っているか (選択:知っている、知らない)

○衛星クラブをどう思うか(知っている場合)

(選択:・必然性が理解できない ・設立を検討すべきである  
・意義は理解できるが、自クラブでは取り組まない)

## 8、国際ロータリーでは、クラブの柔軟性や多様性を認めています

(1)理解と取組みについて

(選択:・賛同し、前向きに取り組む ・主旨は理解できるが取り組まない  
・主旨は理解できるので、ある程度は取り組む ・会員が減少して  
でも、取り組むつもりはない ・良くわからない)

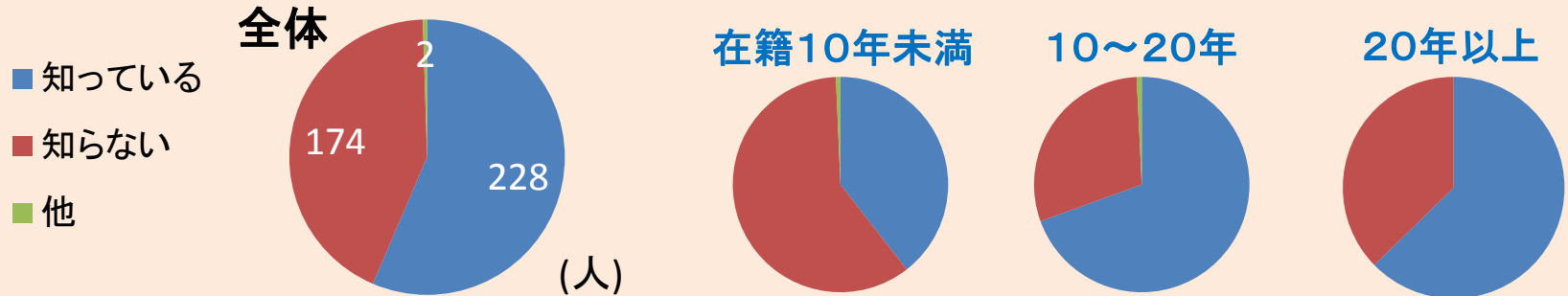
## 9、クラブのビジョンは作るべきか

(選択:・必要だと感じている ・不要である)

# 7衛星クラブについて

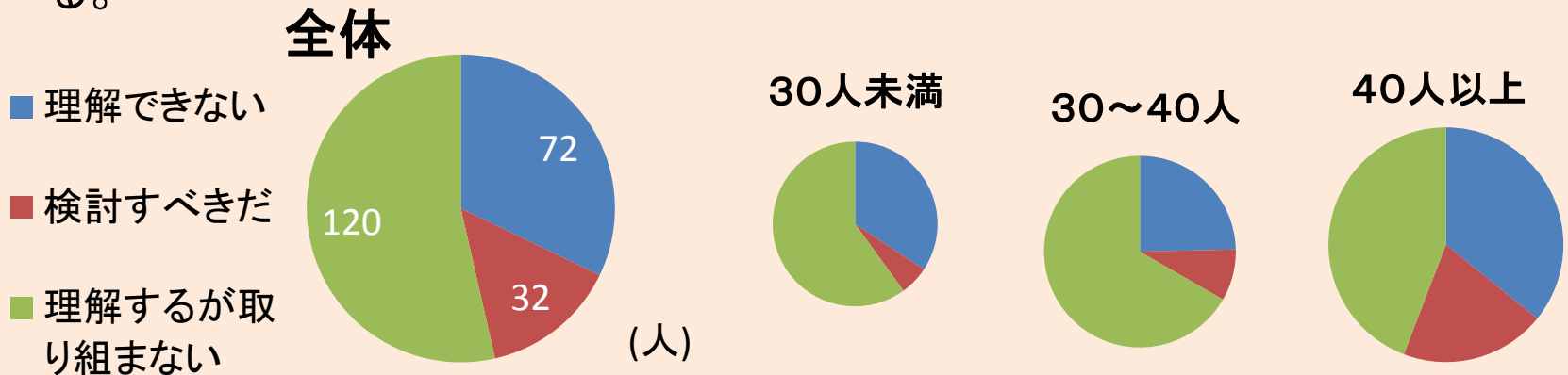
## • 知っているか

全体としては、56%が「知っている」となっており、43%が「知らない」となっている。在籍10年以下では60%が「知らない」となっている。



## • 衛星クラブをどう思うか

全体としては、32%が「必然性が理解できない」、14%が「設立を検討すべきだ」、54%が「意義は理解できるが自クラブでは取り組まない」となっている。

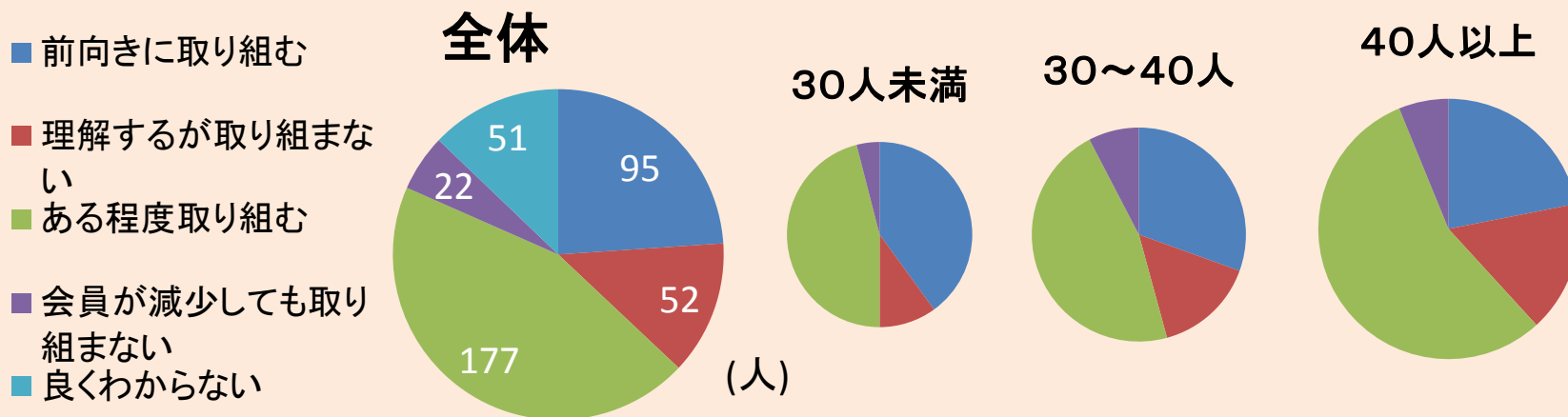


## 8、RIでは、クラブの柔軟性や多様性を認めています

### (1)理解と取組みについて

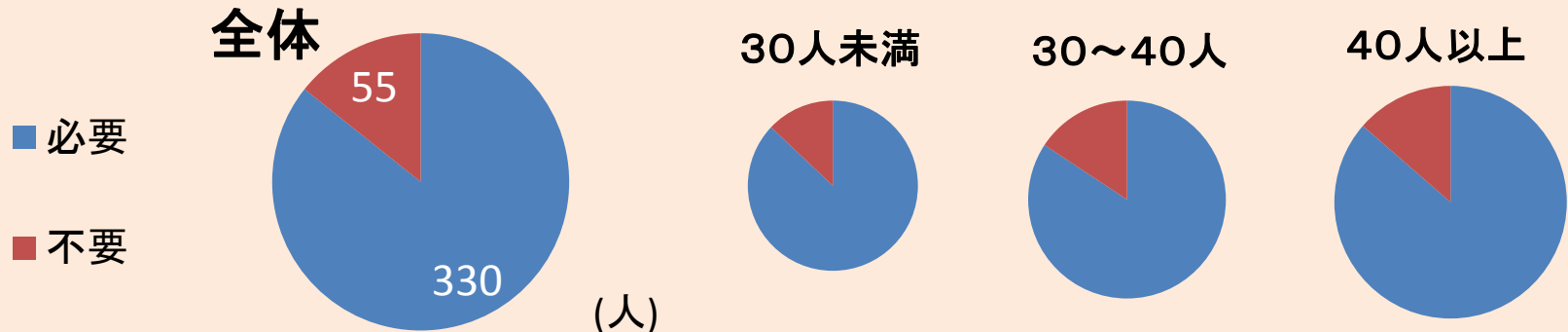
全体としては、24%が「前向きに取り組む」、13%が「理解するが取り組まない」、45%が「ある程度取り組む」、6%が「会員が減少しても取り組まない」、13%が「良くわからない」となっている。

クラブの規模による大きな差異は見られない。



## 9、クラブのビジョンは作るべきか

- ・全体としては、86%が「必要だと感じている」、14%が「不要である」となっている。クラブの規模による大きな差異は見られない。
- ・「必要だと感じている」理由、意見としては、クラブ会員が方向性を共有することは大切である、ビジョンがないとただの同好会である、ビジョンがあれば入会候補者に説明しやすい、変わることだけが変革ではなく変わらないためにも常に変化していかなければならずそのためにもビジョンは必要、集団であるからにはビジョンを共有するのは当然、流されているような活動はしたくない、ロータリーは単年度主義だから長期的な目標や計画を策定する必要がある、など。
- ・「不要である」理由、意見としては、会員増強がすべてでありビジョンなど作る余裕がない、あまり深く考える必要はなく適度なテーマを一つでもクリアする程度で良い、毎年の会長のビジョンによって変わるので決まったビジョンは必要ない、ロータリーの理念により活動してゆくのでクラブとしてのビジョンは必要ない、ロータリアンとしてのビジョンがあるので屋上屋を重ねる必要はない、義務として作るものではない、RIのビジョンだけで良い、など。



# 終わりに

---

- アンケートに協力していただいた各クラブ会員に感謝申し上げますとともに、データの集約にご尽力していただいた、地区クラブ奉仕・拡大増強委員会の皆さん、地区幹事に御礼申し上げます。
- アンケートでは沢山のご意見をいただきましたが、本集約では代表的な意見を紹介させていただきました。紙面の都合ですべてを紹介できなかったことをご理解願います。